

# サハリン・樺太史研究会

国際シンポジウム「ソ連占領地域の抑留史」

日時：2015年11月1日（日）

場所：北海道大学人文社会科学総合研究教育棟 W201

第1セッション 10:00～11:00

富田武(成蹊大学名誉教授)「ソ連抑留 大陸と南樺太の比較」

コメンテーター 中山大将

第2セッション 11:00～12:00

松井憲明(元釧路公立大学教授)

「サハリン・オハ地域の石油開発と捕虜収容所」

コメンテーター 天野尚樹

昼休み:12:00～13:00

第3セッション 13:00～14:00

エリザ = バイル・グチノヴァ

(ロシア科学アカデミー民族学人類学研究所)

「ソ連抑留者の生活を物語る2種類の史料

抑留下の絵画と帰還後の絵画の対比」

コメンテーター スヴェトラナ・パイチャゼ

総合討論 14:00～14:30 司会 天野尚樹

主催 サハリン・樺太史研究会

共催 科学研究費補助金(基盤B)

「サハリン(樺太)島における境界変動の現代史」(研究代表 原暉之)

